

## 常務理事会

(第47事業年度・第13回

平成25年3月21日常務理事会)

主な議事内容は次のとおりです。

### 審議事項

1. 日本監査役協会との共同声明『「監査基準の改訂及び監査における不正リスク対応基準の設定に関する意見書」の公表に伴う監査役等と監査人とのより一層の連携について』に関する件

平成25年3月26日付けで企業会計審議会から公表された「監査基準の改訂及び監査における不正リスク対応基準の設定に関する意見書」を受け、公益社団法人日本監査役協会と連携による、共同声明『「監査基準の改訂及び監査における不正リスク対応基準の設定に関する意見書」の公表に伴う監査役等と監査人とのより一層の連携について』を取りまとめた旨提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

2. 監査・保証実務委員会からの答申「年金資産に対する監査手続に関する研究報告」に関する件

年金資産の消失事案を踏まえ、退職給付会計における年金資産の実在性や評価の妥当性について十分かつ適切な監査証拠を得るために、企業年金の運用対象資産や運用の仕組み・特徴、望ましい監査アプローチや監査手続などについて調査・研究した結果を、監査・保証実務委員会研究報告第26号「年金資産に対する監査手続に関する研究報告」として取りまとめた旨提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

3. 業種別委員会からの答申に関する件

(1) 業種別委員会実務指針第30号「自己資本比率の算定に関する合意された手続による調査業務を实

施する場合の取扱い」の改正について  
(2) 業種別委員会研究報告第10号「年金基金に対する監査に関する研究報告」について

平成24年3月30日付けで「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」が一部改正されたことを受け、業種別委員会実務指針第30号「自己資本比率の算定に関する合意された手続による調査業務を実施する場合の取扱い」を改正する旨、また、平成24年5月16日付けで日本公認会計士協会から公表した「年金資産の消失事案を受けての監査及び会計の専門家としての提言」を踏まえ、年金基金の財務諸表に対する監査について検討を行った結果を、業種別委員会研究報告第10号「年金基金に対する監査に関する研究報告」として取りまとめた旨それぞれ提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

4. 会計制度委員会からの答申に関する件

(1) 『企業会計基準公開草案第49号「企業結合に関する会計基準(案)」等』に対する意見について

(2) IASB公開草案「持分法：その他の純資産変動に対する持分(IAS第28号の修正案)」に対する意見について ほか2件

平成25年1月11日付けで企業会計基準委員会から公表された『企業会計基準公開草案第49号「企業結合に関する会計基準(案)」等』に対する協会意見を取りまとめた旨、また、平成24年11月22日付けで国際会計基準審議会(IASB)から公表された『IASB公開草案「持分法：その他の純資産変動に対する持分(IAS第28号の修正案)」』

に対する協会意見を取りまとめた旨それぞれ提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

5. 学校法人委員会からの答申『学校法人委員会研究報告「確認について」』に関する件

平成22年3月の「監査基準の改訂に関する意見書」の公表に伴う日本公認会計士協会の監査基準委員会報告書の見直しを機に、学校法人会計問答集(Q&A)第12号の改正を検討した結果、学校法人委員会研究報告第25号「確認について」として取りまとめた旨提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

### 報告事項

1. 「IAASBニューヨーク会議報告」及び「IAASBブリュッセル会議報告」に関する件

次の国際監査・保証基準審議会(IASB)会議について報告があった。  
平成24年12月10日から13日 ニューヨーク  
平成25年2月12日から14日 ブリュッセル

## 理事会

(第47事業年度・第13回

平成25年3月22日理事会)

主な議事内容は次のとおりです。

### 会長報告

山崎会長から、企業会計審議会監査部会の動向など最近の事業及び会務の運営状況について、会則第95条に基づく報告があり、協議を行った。

### 審議事項

1. 総務委員会からの意見具申に関する件

(1) 修了考査運営委員会外部委員の

増員に関する会則等の一部変更について  
(2) 品質管理委員会規則の一部変更について  
(3) 継続的専門研修制度に関する細則の一部変更について

平成24年12月5日開催の理事会において、「修了考査運営委員会外部委員の増員について」が承認されたことを受け、修了考査運営委員会外部委員に係る会則を一部変更する旨、平成25年1月16日開催の理事会において、「品質管理委員会規則一部改正要綱案」が承認されたことを受け、品質管理委員会規則を一部変更する旨、また、平成25年1月16日開催の理事会において、「必須単位数の変更等について」が承認されたことを受け、必須の研修に「税務に関する研修科目」を加える等の変更を行うため、継続的専門研修制度に関する細則を一部変更する旨それぞれ提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

### 報告事項

1. 第20回役員選挙に伴う当選者会議の結果に関する件

平成25年3月19日に第20回役員選挙に伴う会則第86条に定める当選者会議が開催され、推薦委員会の推薦を受けた森公高候補者が出席者の過半数の信任により、次期会長に決定した旨報告があった。

2. IIRC（国際統合報告評議会）ワーキンググループ会議報告に関する件

平成25年2月13日から14日にかけてパリにおいて開催されたIIRC（国際統合報告評議会）ワーキンググループ会議について報告があった。

3. 『「上場会社の役員と公認会計士に関する実態調査」（最終報告）』に関する件

組織内会計士協議会において、平成24年10月22日から11月22日まで実施した「上場会社の役員と公認会計士に関する実態調査」の集計結果を最終報告として取りまとめた旨報告があった。

このほか、主な報告事項は次のとおりです。

IFAC理事会ニューヨーク会議報告に関する件

IFAC加盟各団体の専務理事戦略フォーラム報告に関する件

GAA理事会ニューヨーク会議報告に関する件

「監査業務モニター会議活動報告」に関する件

以上

（総務本部長 中塚雅一）